



# 学生発案「営農型太陽光発電見学会」を開催

～千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト～

千葉大学環境ISO学生委員会と株式会社京葉銀行および千葉エコ・エネルギー株式会社は、農業とエネルギーの課題を解決する手段の1つとして、千葉県の農業関係者と千葉大生を対象として、農業と発電事業を同時に行う新しい形の農業形態を紹介する「営農型太陽光発電見学会」を9月18日に開催することとなりました。

農業とエネルギーの未来を考える企画として、ご取材いただければ幸いです。

## ■ 営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）とは

水田や畑などの農地に支柱を立てて太陽光発電設備を設置して農業と発電事業を同時に行う新しい形の農業モデルです。2013年3月に農林水産省から、「支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いについて」という通知が発表され、ソーラーシェアリングが農地転用許可制度上明確に位置づけられました。



写真提供：千葉エコ・エネルギー株式会社

## ■ 営農型太陽光発電 見学会について

日時：2019年**9月18日**(水)

第1部：13:00～14:30（農業関係者向け 約20名）

第2部：14:30～15:30（千葉大学生向け 約10名）

会場：千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機（千葉市緑区大木戸町）

※Googleマップで「千葉市大木戸アグリ・エナジー」と検索

内容：説明会と現地見学

- ・学生委員会からプロジェクトについての説明
- ・千葉エコ・エネルギー株式会社より説明  
「農業とエネルギーの未来へ ～農業向け自家消費太陽光発電・蓄電システムについて～」
- ・営農型太陽光発電の現地見学
- ・農作業体験（第2部のみ）



## ■ 「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」と見学会実施の経緯

千葉大学と京葉銀行は2012年に包括連携協定を結んでおり、千葉大学で環境活動を主体的に担っている環境ISO学生委員会と京葉銀行が協同で、2017年から「ecoプロジェクト～7色の虹を千葉から未来へ」を実施しています。本プロジェクトでは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、まずは「地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献したい」という想いで、京葉銀行の行員や取引先企業、地域住民、千葉大学の学生などを含めた千葉県内の多くの方々を対象に、環境意識の啓発活動を実践しています。（公式サイト [https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco\\_project/](https://www.keiyobank.co.jp/ir/eco_project/)）



毎年、学生たちの自由なアイデアで実施する企画を7つ決定しており、今年はその1つとして、農業の未来とエネルギーの関係に興味を持った学生のアイデアから、この「営農型太陽光発電」の見学会を実施することになりました。同委員会のOBが代表取締役を務める千葉エコ・エネルギー株式会社に学生から協力を依頼し、京葉銀行が取引先の農業関係者に働きかけて参加者を募ることで実施が実現しました。

※千葉エコ・エネルギー株式会社は、ソーラシェアリング業界の最先端を走り、発電と農業に取り組んでいる会社です。

取材のお申込み：本件に関するお問い合わせ  
国立大学法人千葉大学 環境ISO事務局 TEL:043-290-3572  
京葉銀行 経営企画部 広報グループ TEL:043-306-8065  
千葉エコ・エネルギー株式会社 TEL:043-301-6998